

ひらまな読書アクション！～読んで、感じて、やってみよう～

「ひらまな読書アクション」とは？

御殿山、菅原、楠葉、津田の4センターのスタッフが気になる本を一冊読み、そこで感じたことを通して何か行動を起こすという枚方まなびつながりプロジェクトの合同企画。それぞれのホームページとセンターだよりに記事を掲載しているので、他のセンターと見比べて楽しんでください！

御殿山&菅原センターの「読書アクション！」テーマ:「自然と創作」

今回の記事を書いた人：美術センタースタッフ K.A

●読んだ本

「こころ彩る徒然草 兼好さんと、お茶をいっぷく」
木村耕一著（1万年堂出版、2017）

●この本を選んだ理由

美術センターの臨時休館に伴い、自宅待機の日が増えました。元々読書は好きでしたが、本屋にも行けないので（書店派）、以前に読んだ本や、家族の本を借りて読んでいます。

この本は母の部屋で見つけました。大学は国文学科でしたが、専攻は近代文学でしたので、「徒然草」を読むのは高校の古典の授業以来です。「徒然草」を純粋に読み物として読んだことは無かったな、とパラパラと中身を見たところ、読みやすそうだったので、読んでみることにしました。（この歳で原文を読むのはキツイ！）

●本の内容

この本は、兼好法師の「徒然草」の現代語訳ですが、古典の授業のような堅苦しいものではなく、現代の人が私たちに直接語り掛けるように意識しているので、大変読みやすいです。有名エッセイストのブログやツイッターを見ているような感覚で、サクサクと読めます。



●この本を読んだ感想

何となく手に取って読み始めましたが、「徒然草」って、中々含蓄のある言葉が書いてあるんだな、というのが最初に感じたことです。（今更ですが）

例えば、第九三段に「人、死を憎まば、生を愛すべし。存命の喜び日々を楽しまざらんや。」という一文があり、この本では、「今、生きている、この喜びを、日々、楽しもうではありませんか」と訳しています。

新型コロナウイルスの蔓延、非常事態宣言の発令など、私たちは近年に経験したことのない非日常の中にいます。こうなってみてはじめて、失った日常の尊さを実感している方も多いことでしょう。私も、自由に外出もままならない毎日に辟易して、早く元の生活に戻らないかな、と思っていましたが、不意にこの一文に出会って、「不自由とは言え、自分も家族も元気に過ごせている。その事を感謝して、出来る範囲で楽しめば良い。」と考えることにしました。

とは言え、「旅に出るのは、いいものですよ」（第一五段：いづくにもあれ、しばし旅だつにこそ、めさむる心地すれ）との一文に、「どっか行きたい～！」となってしまうのですが…

今回読んだ本は、市内各図書館で予約可能です！

今回のアクション:「雑草フラワーアレンジメント」

●このアクションをした理由

「こころ彩る徒然草」を読んで「出来る範囲で楽しもう」と思った私は、自宅でどんなことが楽しめるかあらためて思案しました。陶芸も趣味なので、何か新しい作品でも作れば良かったのですが、さすがに自宅に窯はないので、仕方なく、以前に作った花器に花でも生けて、自宅を飾ろうと思いました。とは言え、気軽に花屋に出かけるのも憚られるので、庭に咲いている花を使うことにしました。

●準備するもの

- ・花器いろいろ
- ・花（庭から調達）
- ・はさみ



◀垣根のジャスミン



▲石垣の間に咲いている花も活用！



◀茎がふにゃふにゃで生けづかったですが、何とか完成！

●このアクションをした感想

少し前ならチューリップや水仙が咲いていたのですが、今の時期は花器に生けやすそうな花が咲いておらず、やむなく、石垣の合間に勝手に咲いている花も使ってみました。花が地味なので、華やかな花器で生ければ少しは映えたのかも知れませんが、自宅にあったのは地味～なものばかり。人にあげたり、割ったりして、自宅の花器が減っているので、新しい花器が欲しいな、と思いました。

花を探して庭に出てみると、案外知らない花が咲いているんだな、と気づきました。ジャスミン以外の花の名前が分からず、母に聞いても「雑草」としか返ってこない（なんて風情の無い返答！）、植物辞典が欲しいな、と思いました。「出来る範囲で楽しもう」と始めたのに、欲しいものがどんどん増えていることに気づいたアクションでした。

菅原生涯学習市民センターの「読書アクション」をのぞき見！

●読んだ本

「山女日記」湊かなえ著／幻冬舎文庫

●菅原のアクション

苔テラリウムを作ってみよう



他のセンターの読書アクションはそれぞれのホームページをご参照ください！

菅原生涯学習市民センター <http://www.hira-manatsuna.jp/sugawara/>

楠葉生涯学習市民センター <http://www.hira-manatsuna.jp/kuzuha/>

津田生涯学習市民センター <http://www.hira-manatsuna.jp/tsuda/>

今回の読書アクションは
2020年6月末頃に掲載します。
お楽しみに！